

開催 守口市いきいきふれあい作品展覧会

問 高齢介護課 Tel 06-6992-1610

高齢者の創作意欲の向上を図り、生きがいを高め、文化意識の高揚に寄与することを目的として、60歳以上の市民を対象とした作品展覧会を開催します。毎年、見事な作品が数多く出展されています。ぜひお越しください。

時 8月8日(木)～11日(日・祝)いずれも10:00～16:00

場 市役所1階会議室104・105(予定)

備 開催場所を変更する場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



8月1日から介護保険負担限度額が変更

問 高齢介護課 Tel 06-6992-1610

低所得の人が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用するときの居住費・食費の利用者負担額を軽減する介護保険負担限度額認定の1日あたりの居住費の負担額が8月1日から変更となります。

注 食費は変更がありません。

負担限度額変更後一覧表(負担いただく日額)

			第1段階	第2段階	第3段階
多床室	特養等	変更前	0円	370円	370円
		変更後	0円	430円	430円
	老健・医療院等	変更前	0円	370円	370円
		変更後	0円	430円	430円
従来型個室	特養等	変更前	320円	420円	820円
		変更後	380円	480円	880円
	老健・医療院等	変更前	490円	490円	1,310円
		変更後	550円	550円	1,370円
ユニット型個室的多床室	変更前	490円	490円	1,310円	
	変更後	550円	550円	1,370円	
ユニット型個室	変更前	820円	820円	1,310円	
	変更後	880円	880円	1,370円	

生徒を募集 さつき学園夜間学級

問 さつき学園夜間学級 Tel 06-6991-0637

問 学校教育課 Tel 06-6995-3151

市教育委員会では、夜間学級(夜間中学)をさつき学園(春日町13-26、京阪土居駅南東100メートル)で設置しています。

この夜間学級は、いろいろな事情で、小・中学校を卒業できなかった人などが、夜、学ばことができる義務教育の学校です。

府内に住んでいる満15歳を超えている人に入学資格があります。

▽「ひらがな」から中学校で学ぶ内容まで勉強できます。

▽外国籍の人でも入ることができます。

▽授業料はいりません。

▽中学校の卒業証書がもらえます。

入学を希望する人は、8月26日(月)～9月10日(火)の期間にさつき学園夜間学級へ申し込んでください。相談はいつでもできます(学校の休業日は除きます)。

なお、夜間学級(夜間中学)は、府内の11校に設置されており、希望すればどこへでも入学できます。



北方領土問題広報・啓発パネルを展示

問 市長室 Tel 06-6992-1302

北方領土(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島)は、我が国固有の領土です。しかし、現在もロシアによる法的根拠のない占拠が続いています。

市では、北方領土の早期返還の実現に向け市民の皆さんの理解を深めるため、北方領土問題に関する広報・啓発パネルを展示します。

時 8月1日(木)～7日(水)

場 市役所1階正面玄関ロビー



9月3日(火)に実施します 大阪880万人訓練

問 大阪880万人訓練実行委員会

Tel 06-6941-0351

問 危機管理室

Tel 06-6992-1497

問 総務課(市役所庁舎防災訓練について)

Tel 06-6992-1432

一人ひとりの防災意識の向上を目的として実施します。ご協力をお願いします。

時 9月3日(火)

14:30ごろ	市内の同報系防災行政無線の屋外スピーカーから訓練内容について放送
15:00	訓練一斉実施(地震発生想定)
15:03ごろ	大阪府から「大津波警報発表」の緊急速報メール一斉配信
15:05ごろ	守口市から「火災発生」の緊急速報メール一斉配信

注 マナーモードでも着信音が鳴ります。映画館などでは電源を切るか、あらかじめ鳴動しないように設定してください。

同時実施 市役所庁舎防災訓練

内 市役所消防設備見学、避難訓練

時 9月3日(火) 14:00～15:30(予定)

対 市内在住者(中学生以下は保護者同伴)

定 先着20人

申 8月6日(火)～23日(金)に電話・市役所4階総務課窓口で受け付け



大阪880万人訓練
Osaka 8.8million drill

自分も相手も大事にする考え方(全5回) トランスジェンダー当事者として生きる

問 人権市民相談課

Tel 06-6992-1512

知ることは愛の始まり～母へのカミングアウト(第2回)

母へのカミングアウトは、私が27歳のとき。ニュージーランドに就労ビザで滞在中の頃だった。誰よりもわかってほしい。だけど、受け入れてもらえなかったら? 怖くて伝える勇気が出なかった。

私さえ我慢して、誰にも言わずに一生を終えたらいいのでは? そう

何度も考えた。だけど、原因不明の皮膚炎、ストレスで自殺未遂。もう、体も心も限界を超えていた。

ニュージーランドで仕事の休み時間に、母にカミングアウトしようと国際電話した。

- ・物心ついたときから心は男性で生きづらさを感じていた
- ・性別適合手術を受けて戸籍変更をして結婚したい相手がいる

そう伝えた。

母「そうじゃないかと思った」



藤原直氏

小さい頃から、男の子っぽい振る舞いの私を見守ってくれていた、母らしい言葉だと感じた。「お兄ちゃんと、妹には、伝えておくね」「お父さんは、タイミングみてからにしようか」

私は、母に理解してもらえたことがうれしくて、ホッと舞い上がっていた。だけど、母からしたら、いきなり、よくわからないLGBTのことを聞かされて、混乱させてしまったかもしれないって、今は思う。

約3年後、日本帰国のときに、母が私に手渡してくれたもの。それは、カミングアウト後に集めてくれた、23枚のLGBTの新聞や雑誌の切り抜き。母なりに、私のことを思っていて、LGBTや性の多様性のことを知ろうとして、集めておいてくれたんだって思ったら、うれしいのと申し訳ないのとで、私は、「お母さん、ごめん」って泣いた。母は、「ありがとうやろ!」って返した。結局、一緒に泣いた。

知ることは愛の始まり。無意識の偏見で相手を否定してしまうことはある。だけど、正しい知識を知り、尊重することで、気持ちに寄り添えることはある。だから、今日も伝える。この連載がその一歩になることを願って。